



第 57 回

開催要綱

高知県リハビリテーション研究大会

介護人材不足と利用者確保難にどう向き合うか

～高知県幡多地域からの発信～

～開催趣旨～

いま日本は「2025 年問題」「2040 年問題」という大きな転換点に直面しています。2025 年には団塊の世代がすべて後期高齢者となり、医療・介護需要が急増します。総務省の推計では 75 歳以上人口は約 2,179 万人に達し、医療給付費は約 48 兆円、介護給付費は約 15 兆円規模に拡大する見通しです。さらに 2040 年には団塊ジュニアが高齢者となり、全国の高齢化率は 35%を超え、医療・介護費用は現在の 1.4～1.7 倍に膨らむとされています。

必要とされる介護人材は 2026 年度で約 240 万人、2040 年度で約 272 万人と推計されますが、現状からみて 25 万人から 57 万人の不足が見込まれています。高知県においても 2026 年度には約 411 人、2040 年度には約 1,984 人の介護人材が不足するとされ、特に幡多地域では過疎・高齢化が顕著であり、人材の確保と育成は喫緊の課題です。

一方で、高知県全体では人口減少が加速しており、自然減が社会減を上回っています。高齢者人口の減少は介護サービス利用者数の減少にも直結し、施設の空き定員や待機者減少が顕在化しています。つまり、人材不足と利用者減少という二つの相反する課題に同時に向き合う必要があります。

このような状況の中、地域の持続可能性を守るためには、予防・医療・福祉・行政・住民が一体となり、それぞれの役割を果たしながら連携していくことが不可欠です。幡多地域からの発信として、限られた資源を有効に活用し、高齢者にとっても事業所にとっても安心できる仕組みを構築することが求められています。

介護人材の確保と利用者の安定的な支援を両立させながら、地域に根差した持続可能なシステムづくりを探り、次世代へとつなげていくことが、私たちの使命です。

◆開 催 日 令和 7 (2025) 年 1 1 月 9 日 (日) 13:00～16:30

◆会 場 四万十市総合文化センター(しまんとぴあ) 大会議室 1 & 2

【オンライン(ZOOM)併用開催♪】(住所:四万十市右山五月町 7 番 7 号)

◆定 員 オンライン:95 名、会場:60 名(先着順)

◆主 催 高知県リハビリテーション研究会

～高知県に地域リハビリテーション※の理念を普及させる～

・大 会 長 宮本 寛(高知県リハビリテーション研究会 会長)

・実行委員長 田中きよむ(高知県リハビリテーション研究会 理事)



◆後 援 高知県

◆参 加 費 会員・非会員問わず 無料!!

◆参加方法 下記の URL または、右の二次元コードからお申込み下さい。

<https://rihaken4.wixsite.com/57taikai>



～ URL 及び二次元コードからの申込みが難しい場合 ～

別紙 参加申込書により、11月4日（木）までに、事務局あてに FAX 又は E メール
でお申し込みください。

【日程】

- 12:40～ 会場受付・ZOOM 入室可能
- 13:00～13:10 開会
開会挨拶 宮本 寛 （第 57 回高知県リハビリテーション研究大会長）
- 13:10～14:00 基調講演「介護人材不足の背景・状況と今後の方向」
講師：田中 きよむ（高知県立大学社会福祉学部教授、
（休憩） 高知県リハビリテーション研究会理事）
- 14:10～16:30 パネルディスカッション
介護人材不足と利用者確保難とどう向き合うか
～保健・医療・福祉・行政・住民のスクラムをめざして～
- パネラー(50 音順)
- ・荒川泰士 氏（高知県ホームヘルパー連絡協議会会長）
 - ・芝岡美枝（高知県幡多福祉保健所地域支援室長）
 - ・西本久美香（NPO 法人「ふくしねっと CoCo てらす」事務局長）
 - ・溝渕敏水（医療法人聖真会渭南病院院長）
 - ・山本博昭（四万十市社会福祉協議会局長）
- コーディネーター
- ・田中きよむ（高知県立大学社会福祉学部教授、高知県リハビリテーション研究会理事）
- 16:30 閉会
閉会挨拶 田中きよむ（第 57 回高知県リハビリテーション研究大会実行委員長）

※ 質疑応答の時間を設ける予定ですが、オンライン参加の皆様は ZOOM のチャット機能でのみご質問を受けさせていただきますので、よろしくお願いします。

※《地域リハビリテーションとは》

障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言う。
（「日本リハビリテーション病院・施設協会」の定義より）

第57回高知県リハビリテーション研究大会 参加申込書

* 参加申込 URL 及び二次元コードからの申込みが難しい場合にご使用ください。

	記入例	申込欄
参加方法 (※2)	<u>会場</u> オンライン	会場 ・ オンライン
参加区分	正会員(個人) 賛助会員(団体) <u>非会員</u> 学生	正会員(個人) ・ 賛助会員(団体) ・ 非会員 ・ 学生
フリガナ	コウチ ハナコ	
参加者の氏名	高知 花子	
賛助会員名	賛助会員(団体)の方は、左欄に賛助会員名をご記入ください。	
フリガナ (※3)	アールアイエイチエーハイフンケーイーエヌ@アールアイエイチエーエトットエヌイトットシエヒロー	
E-mail	riha-ken@riha.ne.jp	
電話番号	<u>【自宅】</u> 勤務先、携帯 088-×××-××××	[自宅、 勤務先、 携帯] — —
勤務先又は学校名 (※3)	デイサービス高知家	
業種	医療、保健、 <u>福祉</u> 、その他	医療 ・ 保健 ・ 福祉 ・ その他 ()
お住まいの都道府県	<u>高知県</u> 、() 都道府県	高知県 ・ () 都道府県
会場参加をご希望の方は、以下の項目にもご記入ください。【非会員のみ】 (* ご記入がない場合、領収証宛名は参加者名で発行いたします)		
領収証の宛名	デイサービス高知家	

※1 上記に記入のうえ、**11月4日(木)まで**に FAX 又は E メールにて事務局までお申込みください。

※2 会場参加は、お申込みの先着順(定員60名)です。オンラインでの参加は、先着 95名までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

※3 E-mail を手書き記入する場合は、フリガナもご記入ください。勤務先は、お構いなく方はお答えください。

※4 参加申込書により知り得た個人情報は参加管理にのみ使用します。

高知県リハビリテーション研究会事務局

株式会社 幸 デイサービスセンター幸のつどい(中平)

〒781-5103 高知県高知市大津乙 1212 番地7

TEL 088-855-4163 FAX 088-855-4164

Eメール rihaken@rihaken.sakura.ne.jp

ホームページ <http://rihaken.sakura.ne.jp/rihab/>